MUTOH

証券コード 7999

第68期
中間（第2四半期）報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

MUTOHホールディングス株式会社

■株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに、第68期中間（第2四半期）報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

■事業の経過および成果のご説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済環境は、米国景気が堅調に推移する中、他地域では欧州において英国のEU離脱問題などにより、景気の不透明感が一気に増大し、急速な為替の円高基調が進展し継続しています。加えて、中国を筆頭にアジア新興国においても依然景気停滞感が強く、景気の先行きに対する不透明感は払しょくされておりません。

このような状況の中、当社グループは、継続して将来的な収益力向上を目的に、経営基盤の強化と製品開発を推進してまいりました。

主力製品である大判インクジェットプリンタでは、ボードタイプ、ロールタイプ両方のメディアに広く対応したLED-UVハイブリッドインクジェットプリンタ『VJ-1638UH』、日本では使いやすい一間（1.8m）サイズに最適な最大プリント幅1.9m（75インチ）対応の高速大判インクジェットプリンタ『VJ-1938X』および素材の伸縮性に関わらず幅広いタイプのテキスタイルメディアに直接プリントが可能なダイレクト捺染インクジェットプリンタ『VJ-1938TX』の新製品3機種を発売し、製品ラインナップを拡充してまいりました。

また、米国ラスベガスで9月に開催された世界最大規模のサイン・ディスプレイ関連の展示会2016 SGIA Expoにおいて、今期新発売の上記『VJ-1638UH』『VJ-1938TX』および昨年度発売の『VJ-1628X』の3機種が“PRODUCT OF THE YEAR”を受賞いたしました。『ValueJet』シリーズとしては5年連続の受賞となり『MUTOH』の製品、ブランドは世界で高い評価を得ております。

8月には、グローバル競争力の強化を目的として、当社の海外販売子会社を開発・生産拠点である武藤工業株式会社の傘下といたしました。これによって大判インクジェットプリンタにおける開発・生産・販売体制の一体化を図り、海外戦略の強化・拡大とスピード感のある経営を推進してまいります。

3Dプリンタにおいては、10月にポリカーボネイトなどのエンジニアリングプラスチック素材に対応したデュアルヘッド熱溶解積層（FDM）方式の業界初となるデスクトップ型3Dプリンタ『MF-2500EP』を新発売いたしました。

MUTOHは、今後もブランド力の強化、顧客ニーズを反映した製品ラインナップの拡充に力を入れ、収益拡大に向け取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は98億70百万円（前年同期比13.2%減）となり、営業利益は16百万円（前年同期比93.7%減）、経常損失98百万円（前年同期は2億37百万円の利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は1億94百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

当社グループは、業績回復を目指して意欲的な経営戦略を展開していく所存でございます。
皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

○売上高

第68期第2四半期 **9,870** 百万円

	第65期	第66期	第67期
	23,115百万円	23,475百万円	23,449百万円
第2四半期	10,813百万円	11,467百万円	11,375百万円

○営業利益

第68期第2四半期 **16** 百万円

	第65期	第66期	第67期
	1,630百万円	1,306百万円	689百万円
第2四半期	655百万円	876百万円	264百万円

○経常損益

第68期第2四半期 **△98** 百万円

	第65期	第66期	第67期
	2,014百万円	1,354百万円	622百万円
第2四半期	901百万円	928百万円	237百万円

○親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益

第68期第2四半期 **△194** 百万円

	第65期	第66期	第67期
	2,399百万円	2,684百万円	148百万円
第2四半期	591百万円	2,443百万円	0百万円

○総資産額

第68期第2四半期 **29,894** 百万円

第65期	第66期	第67期
32,953百万円	32,027百万円	31,701百万円

○純資産額

第68期第2四半期 **22,819** 百万円

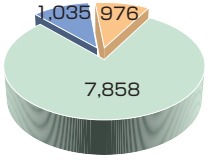
第65期	第66期	第67期
21,446百万円	25,061百万円	23,917百万円

第2四半期事業別セグメント

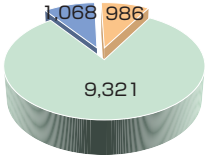
売上高（百万円）

情報画像関連機器事業　情報サービス事業　不動産賃貸事業ならびにその他の事業

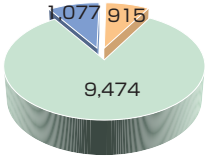
・第68期 **9,870** 百万円



・第67期 **11,375** 百万円



・第66期 **11,467** 百万円



通期の業績予想

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	24,000	800	800	400

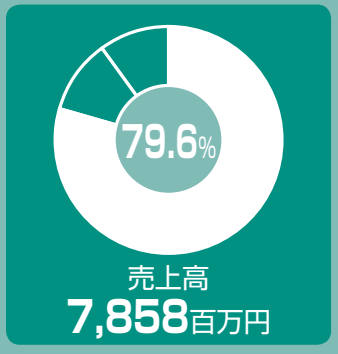
（平成28年5月13日公表値）

第3四半期以降、円高基調の継続と長引く国内消費の低迷に加えて、直近の米国大統領選の結果を踏まえた世界的な不透明感の増大など不安定な要素が多く、合理的に業績を予想することが難しくなっております。

このため、通期業績予想につきましては算定中であり、当面平成28年5月13日の公表値を据え置くことといたしますが、今後業績への各種影響が明確になり、業績予想に変更の必要性が生じた場合には速やかに公表いたします。

事業セグメントの概況

情報画像関連機器事業

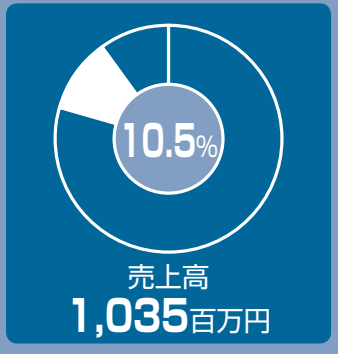


アジア地域においては、長引く景気低迷の影響、大判インクジェットプリンタの競争激化による販売価格の下落、3Dプリンタ販売の一服感と低価格化の進行などから、売上高は32億52百万円（前年同期比18.9%減）、セグメント損失は1億49百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

北アメリカ地域においては、積極的な販売活動を展開したものの、為替の円高の影響により、売上高は18億7百万円（前年同期比16.5%減）、セグメント利益は1億30百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

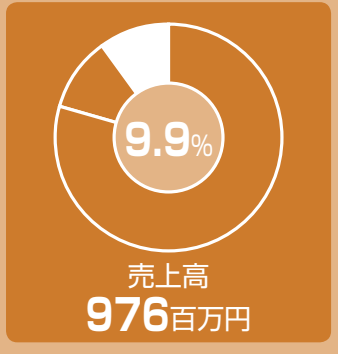
ヨーロッパ地域においては、北欧での好調な販売を維持するものの、為替の円高による影響とヨーロッパ全域に広がる地政学リスクの影響により、売上高は27億97百万円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は49百万円（前年同期比69.3%減）となりました。

情報サービス事業



情報サービス事業においては、既存事業（CAD事業・システムソリューションサービス事業）の販売は若干の減少はあるもののほぼ前年並みに推移し、3Dソリューション事業の収益性向上により、売上高は10億35百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は53百万円（前年同期比194.0%増）となりました。

不動産賃貸事業ならびにその他の事業



不動産賃貸事業においては、安定した稼働により前年並みを維持し、売上高は1億28百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は1億3百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

その他の事業においては、販売は前年並みに推移し、経費削減と為替の円高による仕入れ価格の改善により、売上高は8億47百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント損失は5百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

最大作画速度52㎡/hを実現
1.9m幅対応高速インクジェットプリンタ『VJ-1938X』

『VJ-1938X』は、最大プリント幅1.9mに対応し、最適プリントヘッドを2個スタガ（千鳥）配列にすることで最大作画速度52㎡/hを実現。
また、「ドロップマスター技術」（メディアの厚さを事前に入力することで、双方向印刷時のインク噴射タイミングを自動調整し、インクを正確な位置に着弾させる技術）を搭載し、全体の画質の鮮明度と滑らかさを向上させました。

- ◆最大メディア厚2.8mmに対応した高さ3段階切替え機能を搭載
- ◆オートカット機能を搭載
- ◆別売の大容量インクパックアダプタを使用することで1Lパックに対応
- ◆従来の純正エコソルベントインクに加え、人に、環境にやさしい低溶剤・低臭気の『Ultra Value インク』1Lパックが選択可能

高速大判インクジェットプリンタ
『VJ-1938X』

業務改善システム
FASTシステム『Kintone（キントーン）』を活用

ムトーアイテックス㈱は、サイボウズ㈱のオフィシャルパートナーになりました。
これに伴い、サイボウズ製品およびサービスとMUTOH製品を組合わせた業務改善のご提案が可能となりました。
特にFASTシステム『Kintone』に関しては、セールス・アドバイザー（SA）を有する技術者が在籍しており、皆様の業務改善を支援させていただきます。
MUTOH自身も業務システム構築に『Kintone』を活用し、日々の業務カイゼンを推進いたします。
以下の課題をお持ちのお客様がございましたら、すぐにご検討を始めていただけます。

- ◆いくら簡単とはいえ、専任ではないので業務システム構築には支援が必要である。
- ◆すでに運用しているクラウド版ガルーンと連携したWEB DBを検討している。
- ◆現行業務システムとの連携を行いつつ、より価格メリットのあるクラウドの比率を増やしたい。

バンテージタイプサポーター
『サポートラップ』（全3種）にブラックを発売

バンテージタイプのサポーター『サポートラップ』には、手首用、足首・ひじ兼用、ひざ・太もも兼用の3種があり、既存カラーのベージュに加え、新たにブラックを発売しました。

- ◆テーピング感覚で簡単に使用可能
- ◆洗濯ができて、くり返し使える高耐久性
- ◆伸縮性素材なので、固定力の調整が可能

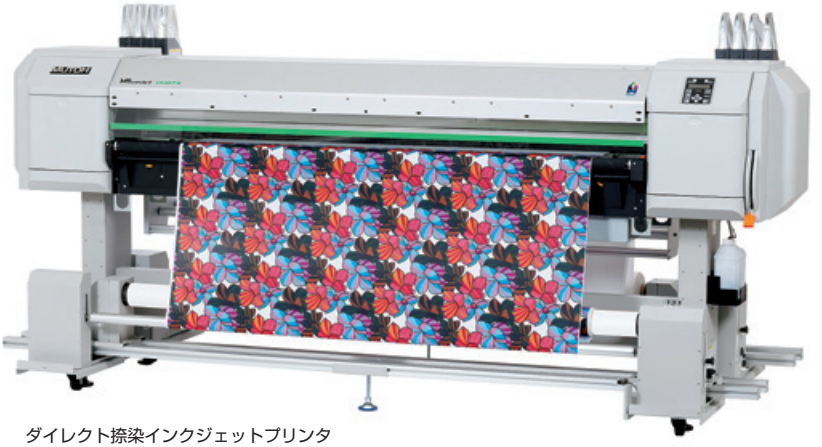
製品名	部位	バンテージ幅	バンテージ長
サポートラップ・リスト	手首用	7.5cm	約40cm
サポートラップ・アンクル&エルボー	足首・ひじ兼用	7.5cm	約80cm
サポートラップ・ニー	ひざ・太もも兼用	7.5cm	約150cm

『サポートラップ』使用例

ストレッチメディアにも対応したエントリーモデル ダイレクト捺染インクジェットプリンタ『VJ-1938TX』新発売

『VJ-1938TX』は、純正捺染顔料インクを使用した、最大プリント幅1.9m対応のダイレクト捺染インクジェットプリンタです。

シルクをはじめとするノンストレッチメディアはもちろん、ストレッチメディアにも対応したことで、「ファッションアパレル」分野だけでなく、インテリアや建材関連の「ホームファブリック」、スポーツユニフォームなどの「スポーツアパレル」など、幅広い捺染分野でご使用いただけます。



ダイレクト捺染インクジェットプリンタ
『VJ-1938TX』

メディア搬送ローラーに一本物のゴムローラーを採用。これを上下に配置し、メディアを挟み込んで搬送することにより、毛羽立ちを抑え、安定したメディア搬送を実現。また、標準装備の専用送出・巻取装置により最大100kgのメディアに対応可能。従来ベルト方式でしか対応できなかったメディアを、より簡単に、安心して搬送できるようになりました。

プリントヘッド2個をスタガ（千鳥）に配列することで、印刷速度が大幅にアップ。高速印刷から高品質印刷までを可能にしました。

純正インクに、オレンジ、グリーン、ブルーの特色を採用したことにより、色の表現力も豊かになりました。

最大ヘッド高さ6mm（最大メディア厚3.5mm）を可能にした、3段階のプリントヘッド高さ調整機構を搭載して、さまざまなメディアに対応します。

エンジニアリングプラスチックス対応 デスクトップ型3Dプリンタ『MF-2500EP』新発売

『MF-2500EP』は、エンジニアリングプラスチックス（エンプラ）にも対応した自社開発デスクトップ型3Dプリンタの上位機種です。

デュアルヘッドを搭載し、造形エリアが300mm×300mm×300mmの『MF-2200D』で取り入れた機能を継承しながら、エンプラに対応して300℃の高温を実現するヘッドを開発するとともに、テーブル温度を150℃に高めて反りの低減を図りました。

エンプラの代表格であるポリカーボネイトの高温に耐える特性を活かして、金型の入れ子の保持やプリント基板実装メーカーでの実装直後の高温基板の位置決め治具などの造形を実現します。

更に、材料の幅を広げるために、ポリカーボネイト以外のフィラメント開発も検討しています。

エンプラフィラメントによるサンプル

デスクトップ型3Dプリンタ『MF-2500EP』

MUTOHグループ内組織再編を実施 営業効率と顧客サービスの向上、収益力の拡大を推進

MUTOHグループは、急激に変化する経済情勢に対処するため、今まで以上に意思決定の迅速化、事業執行の一体感の強化が必須と判断し、営業効率と顧客サービスの向上、ならびに原価低減、経費削減による収益力の拡大を目的として、**①開発・生産・販売一体化の推進**、**②販売窓口（国内）の集約**を実施いたしました。

①開発・生産・販売一体化推進の概要：

海外販売子会社を情報画像関連機器事業の中核子会社である武藤工業㈱の傘下とし、株式を移管いたしました。

再編した海外販売子会社は以下の通りです。

ムトーアメリカ社、ムトーベルギー社
ムトードイツ社、ムトーノースヨーロッパ社
ムトーシンガポール社
ムトーオーストラリア社

②販売窓口（国内）集約の概要：

平成28年10月1日付で、子会社である㈱ムトーエンジニアリングの3Dプリンタ事業、設計製図機器販売、計測・制御機器販売、CADソリューション、環境対応事業の一部を、中核子会社である武藤工業㈱に事業譲渡により移管して、販売窓口を武藤工業㈱に集約いたしました。

（注）組織再編の詳細につきましては、当社ホームページ（http://www.mutoh-hd.co.jp）に掲載の開示情報をご参照ください。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
資産の部			
流動資産	**18,251**	**19,542**	**19,645**
現金及び預金	8,046	8,619	8,775
受取手形及び売掛金	3,587	3,729	4,570
たな卸資産	5,117	5,923	4,948
その他	1,499	1,268	1,352
固定資産	**11,642**	**12,238**	**12,055**
有形固定資産	**8,701**	**9,023**	**8,867**
無形固定資産	**282**	**316**	**299**
投資その他の資産	**2,657**	**2,899**	**2,889**
投資有価証券	1,957	2,389	2,150
その他	700	509	739
資産合計	**29,894**	**31,780**	**31,701**

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
負債の部			
流動負債	**4,760**	**5,295**	**5,438**
支払手形及び買掛金	2,887	3,156	3,253
その他	1,873	2,139	2,185
固定負債	**2,313**	**1,761**	**2,345**
退職給付に係る負債	1,892	1,272	1,925
その他	420	489	419
負債合計	**7,074**	**7,057**	**7,783**
純資産の部			
株主資本	**24,513**	**24,883**	**25,030**
資本金	10,199	10,199	10,199
資本剰余金	4,182	4,182	4,182
利益剰余金	12,478	12,845	12,993
自己株式	△2,345	△2,342	△2,344
その他の包括利益累計額	**△2,464**	**△ 986**	**△1,912**
非支配株主持分	**770**	**825**	**800**
純資産合計	**22,819**	**24,723**	**23,917**
負債・純資産合計	**29,894**	**31,780**	**31,701**

■連結損益計算書

（単位：百万円）

科目 ＼ 期別	当第2四半期 自 平成28年４月１日 至 平成28年９月30日	前第2四半期 自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日	前期 自 平成27年４月１日 至 平成28年３月31日
売上高	9,870	11,375	23,449
営業利益	16	264	689
経常損益	△ 98	237	622
税金等調整前四半期（当期）純損益	△ 205	336	736
親会社株主に帰属する四半期（当期）純損益	△ 194	0	148

■連結キャッシュ・フロー計算書

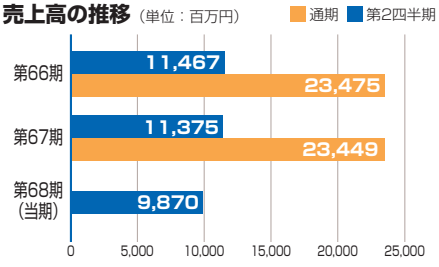
（単位：百万円）

科目 ＼ 期別	当第2四半期 自 平成28年４月１日 至 平成28年９月30日	前第2四半期 自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日	前期 自 平成27年４月１日 至 平成28年３月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	93	1,386	2,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 97	△1,297	△1,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 385	△ 382	△ 392
現金及び現金同等物の増減額	△ 699	△ 247	△ 77
現金及び現金同等物の期首残高	8,519	8,597	8,597
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	7,820	8,349	8,519

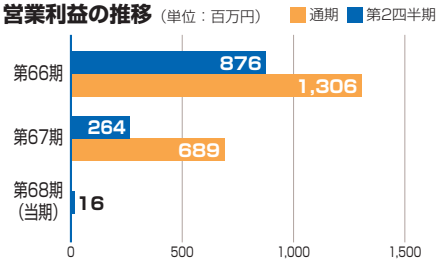
■事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業㈱・ムトーベルギー社・ムトーノースヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・武藤工業香港有限公司・ムトーシンガポール社・ムトーオーストラリア社・㈱ムトーエンジニアリング
情報サービス事業	ムトーアイテックス㈱・㈱ムトーエンジニアリング・㈱ムトーフィギュアワールド
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス㈱・㈱ムトーエンジニアリング・㈱ムトーエンタープライズ
その他の事業	㈱ムトーエンジニアリング ㈱ムトーエンタープライズ

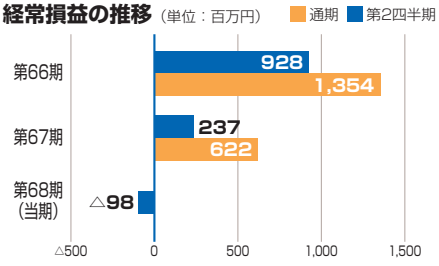
売上高の推移（単位：百万円）



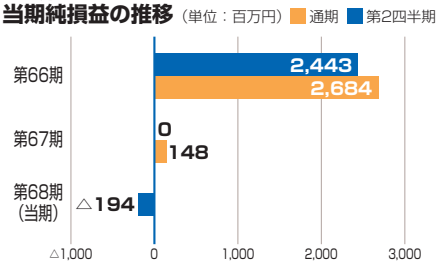
営業利益の推移（単位：百万円）



経常損益の推移（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純損益の推移（単位：百万円）



会社の概要（平成28年9月30日現在）

商号	MUTOHホールディングス株式会社 （英文社名　MUTOH HOLDINGS CO., LTD.）
設立	1952年（昭和27年）3月5日 （創業：1942年（昭和17年）12月）
資本金	101億99百万円
本社事務所	東京都世田谷区池尻三丁目1番3号 TEL：03-6758-7100（代）
主な事業内容	グループ会社の経営管理および資産管理
ホームページ	http://www.mutoh-hd.co.jp

MUTOHグループ会社

■ 役員（平成28年9月30日現在）

取締役会長	髙山允伯	取締役	鴨居和之	取締役監査等委員	立沢肇		
代表取締役社長	早川信正	取締役	小林裕輔	取締役監査等委員	山田一寛		
取締役	竹田晶信	取締役	髙山芳之	取締役監査等委員	飛田博		
取締役	坂本俊弘						

株式の状況（平成28年9月30日現在）

■ 発行可能株式総数　170,000,000株

■ 発行済株式総数　54,818,180株

■ １単元の株式数　1,000株

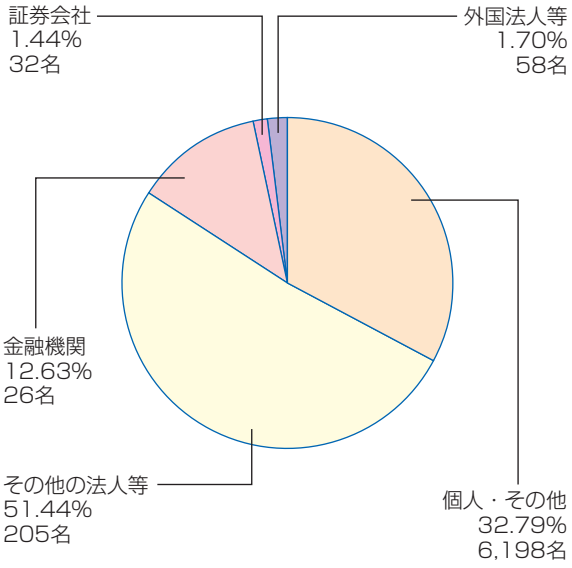
■ 株主数　6,519名

■ 大株主の状況

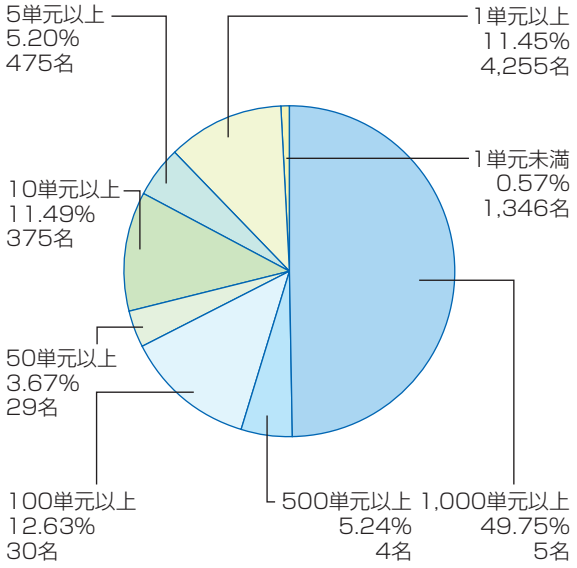
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
ＴＣＳホールディングス株式会社	13,220,000	28.82
株式会社みずほ銀行	2,071,399	4.52
武藤栄次	1,580,586	3.45
三井住友信託銀行株式会社	1,457,000	3.18
ユニシステム株式会社	923,000	2.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	796,000	1.74
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	719,000	1.57
堀啓一	591,000	1.29
ハイテクシステム株式会社	561,000	1.22
シグマトロン株式会社	444,000	0.97

（注）1. 当社は自己株式8,940,522株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆所有者別分布状況



◆所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 http://www.mutoh-hd.co.jp ※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

ご注意

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

   株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

   なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

   株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。

PRO-WE PROJECT- With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO2は PROJECT- With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

Waterless Printing. Naturally.

VEGETABLE OIL INK

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080